



2007年3月期決算説明会

2007年5月2日

JASDAQ:6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

I .事業の特徴

I .事業の特徴—事業構成(07年3月期連結売上高)—

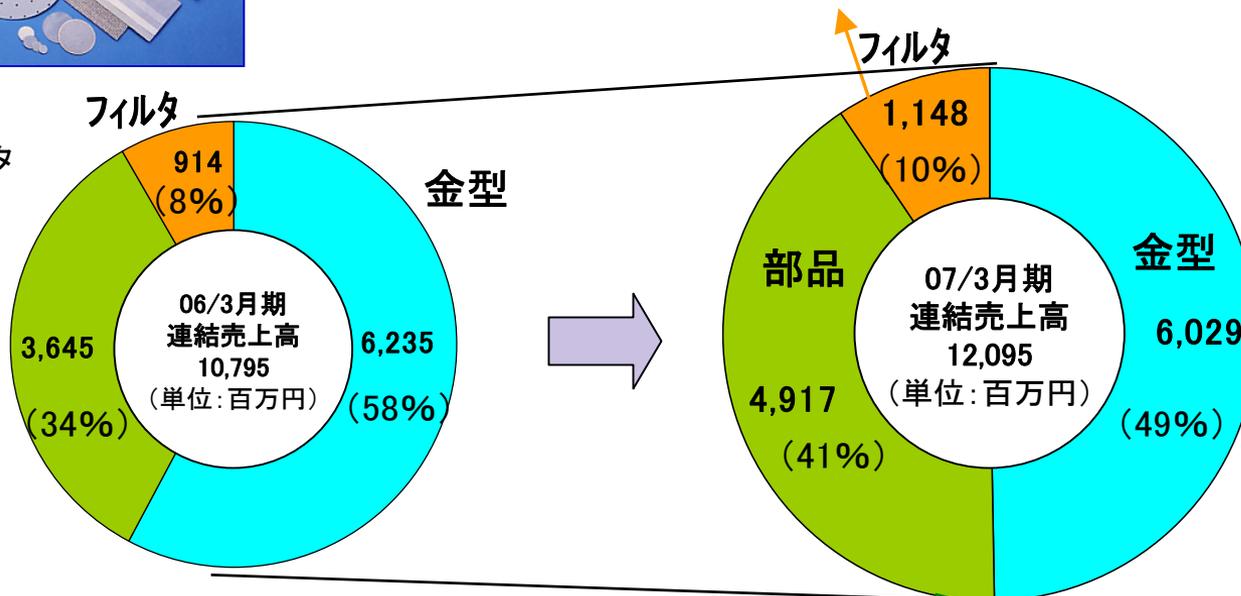


積層焼結
金網フィルタ

食品、医薬品のろ過。ケミカルプラント、原子力プラント、ロケットの燃料系など、多様な分野で使われる積層焼結金網フィルタ。



精密鍛造金型



主にエンジン・トランスミッション・駆動系部品のギアなど、自動車部品の成形に使われる精密鍛造金型。



スクロール鍛造品



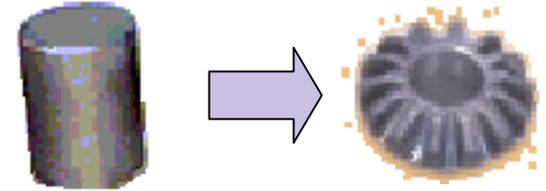
VGターボチャージャー
部品

- ・ディーゼルエンジン用 VGターボチャージャー部品のアッセンブリ。
- ・自動車部品、アルミ合金製エアコン部品などの精密鍛造品。

I. 事業の特徴－金型事業の特徴－

金型事業

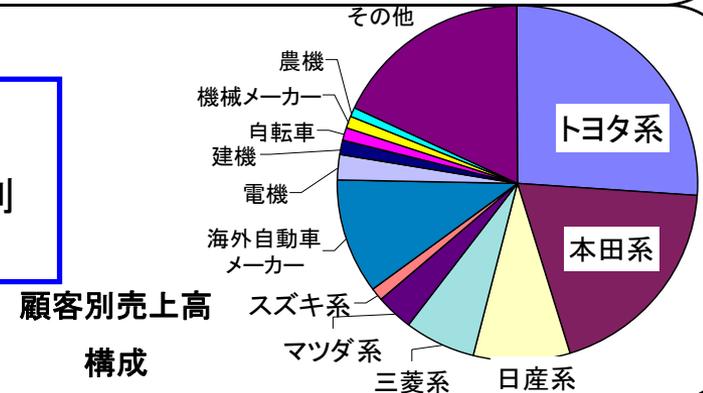
- ✓ 精密鍛造金型(温間、冷間鍛造金型)を扱う。常温で切削なしに部品成形を行う**ネットシェイプ技術**がコア技術。
- ✓ 金型生産に留まらず、開発から鍛造ライン提供まで請け負う**トータルエンジニアリング**を提供可能。



ネットシェイプ

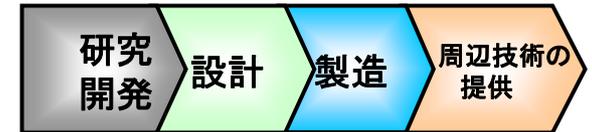
顧客

- ✓ 自動車関連が約80%占める。
- ✓ **顧客は偏在せず**、全ての国内メーカー系列と取引。



競合状況

- ✓ 国内鍛造金型メーカーと競合。**トータルエンジニアリング**を提供できる企業は限定。
- ✓ 切削工法と競合。切削と比較して、材料コストの削減、生産効率の向上などのメリットをもつ。

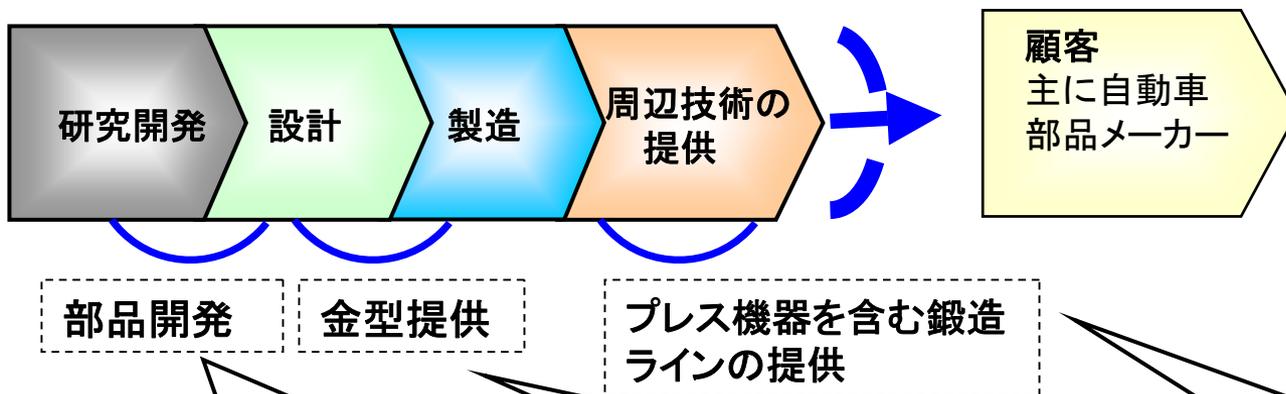


バリューチェーン

I. 事業の特徴－金型事業の強み－

■トータルエンジニアリングの提供

研究開発から周辺技術の提供まで幅広く提供。



ヘリカルギア

歯すじが軸に平行でなく斜めになっている歯車。ミッション系の自動車部品などに使用される。

成形方法に関して、自動車部品メーカーと共同特許を取得。



S-MAXシステム

CAD/CAMを利用した生産効率向上と安定品質を可能にするシステム。

設計室から加工現場へオンラインで、加工プログラムを送信可能。

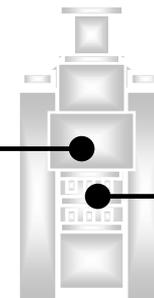


プレス機器、ダイセット(自社設計・生産)など周辺機器の提供。

プレス機器は、売上区分の「商品」に含む。



プレスマシン



ダイセット

I. 事業の特徴—金型事業の海外展開—

■韓国、中国

- ✓現地系の部品メーカーを中心に取引。
- ✓中国上海に営業拠点。



● NACケンタッキー工場
精密鍛造金型を生産



宇治田原工場
(京都)

■北米

- ✓NAC(ニチダイアメリカ)が対応。
- ✓日系および米系部品メーカー双方に販売。

■インド

- ✓現地系および欧米系のユーザーに対応。新規投資および開発案件増加が見込まれる。

■タイ

- ✓日系企業が積極的に進出。当社も日系部品メーカー中心に取引。
- ✓バンコクに営業員駐在。

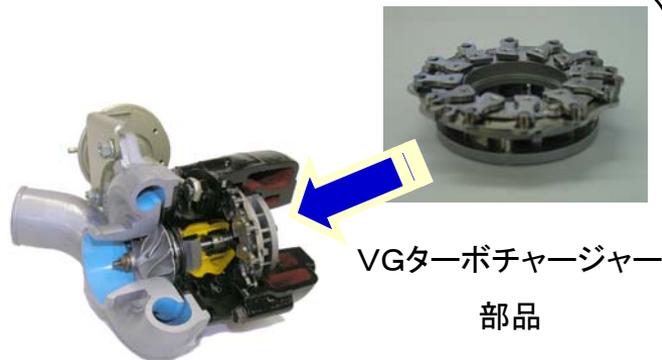
■ ND単独 海外営業に含む ■ NAC

I. 事業の特徴－部品事業～アッセンブリ部門の特徴－

アッセンブリ

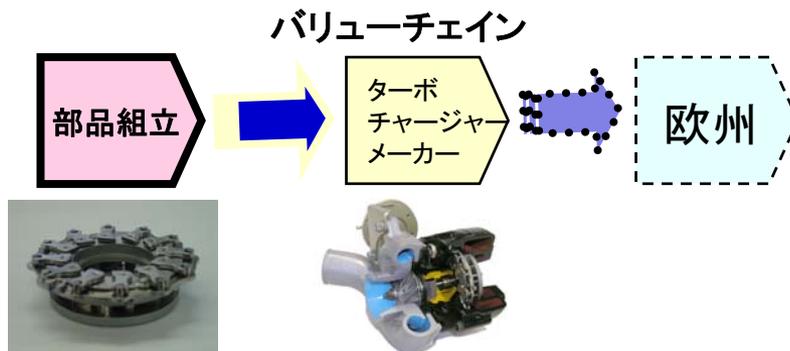
- ✓ ディーゼルエンジン用**VGターボチャージャー部品**の組立。
- ✓ **VGターボチャージャー**はPM、NOx等の環境 負荷物質削減に貢献。環境規制強化に伴い、必要性が高まる。(機構は、下図参考)

■ND単独に含む。

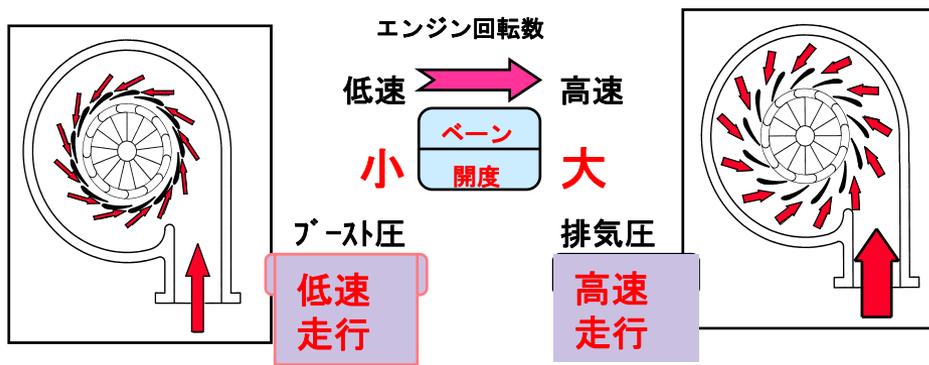


顧客

- ✓ ターボチャージャーメーカーに 納入。
- ✓ 主に、欧州向け乗用車用ディーゼルエンジンに搭載。



VGターボチャージャーの仕組 ベーンがエンジンの回転数に合わせ開閉、空気量を制御



I. 事業の特徴—部品事業～精密鍛造部門の特徴—

精密鍛造

- ✓ 精密鍛造金型を用いた精密鍛造品の中少量生産。
- ✓ 主力は、カーエアコン用スクロール鍛造品。



カーエアコン用スクロールなどの精密鍛造部品

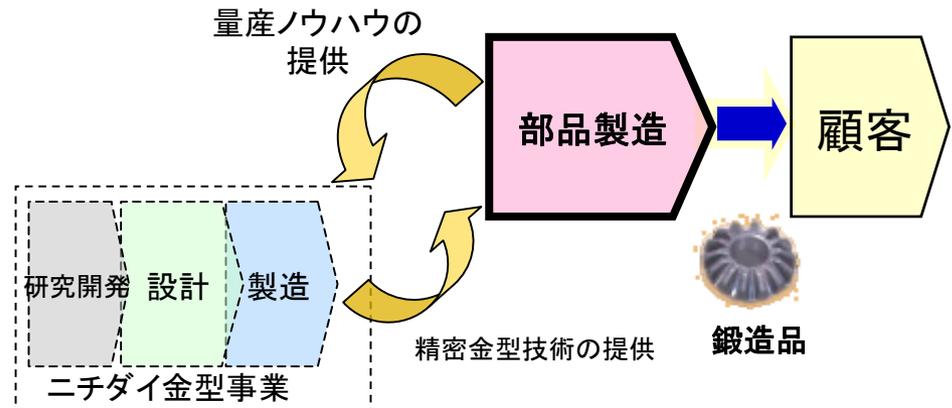
■ND単独に含む。

バリューチェーン

- ✓ 金型事業とのシナジーを考慮した事業展開。
蓄積された精密鍛造技術を金型開発に利用。
- ✓ 金型事業のトータルエンジニアリングの構成を担う。



社内所有プレス



I. 事業の特徴ーフィルタ事業ー

フィルタ

- ✓ ステンレス金網を積層焼結技術により一体化したもの。(生産工程の概略は、下図参照)
- ✓ 機械的強度、耐久性、耐熱性に優れるという特徴をもつ。
- ✓ 2004年にNFC(ニチダイフィルタ)として分社化。



フィルタ断面

顧客

- ✓ 食品、医薬品、石油化学など多様な産業に顧客をもつ。
- ✓ 最近では、液晶用フィルム生産設備などの高機能樹脂用フィルタの伸びが顕著。

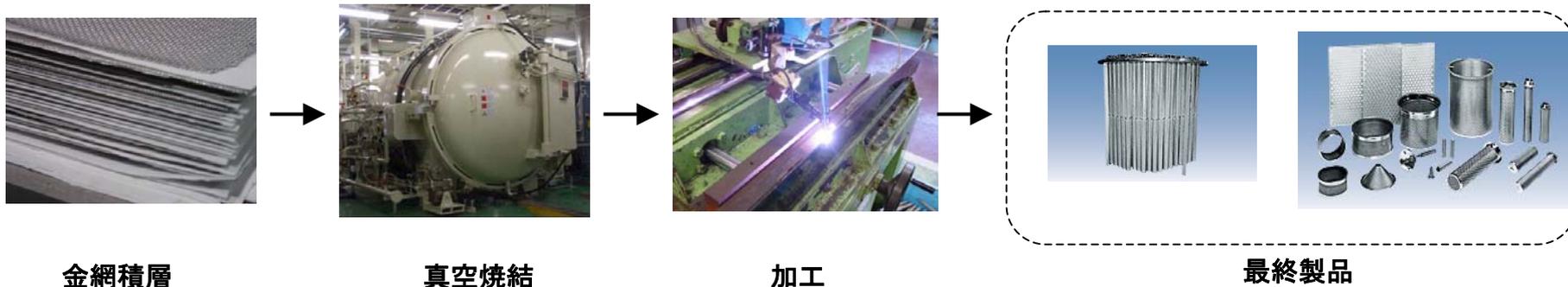


医薬品用



高機能樹脂用

積層金網フィルタ生産工程の概略



Ⅱ .07/3期実績

Ⅱ. 07/3期実績-P/L:売上・利益の状況-

連結

単位:百万円

		06/3 実績 05/4-06/3	07/3 業績予想 (10月発表) 06/4-07/3	07/3 業績予想 (3月発表) 06/4-07/3	07/3 実績 06/4-07/3	伸び率
単 独	売上高	9,758	10,640	10,550	10,619	8.8%
	経常利益	803	940	870	883	10.0%
	当期純利益	417	555	△ 315	△ 372	—
N F C	売上高	914	1,050	1,150	1,148	25.6%
	経常利益	119	131	166	179	50.5%
N A C	売上高	498	618	618	622	24.9%
	経常利益	△ 92	3	△ 62	△ 64	—
連 結	売上高	10,795	12,000	12,010	12,095	12.0%
	売上総利益	2,498	2,852	2,745	2,808	12.4%
	販売管理費	1,612	1,707	1,679	1,669	3.5%
	営業利益	885	1,145	1,066	1,139	28.7%
	営業外損益	△ 82	△ 95	△ 96	△ 92	—
	経常利益	802	1,050	970	1,046	30.4%
	当期純利益	369	610	540	543	47.2%

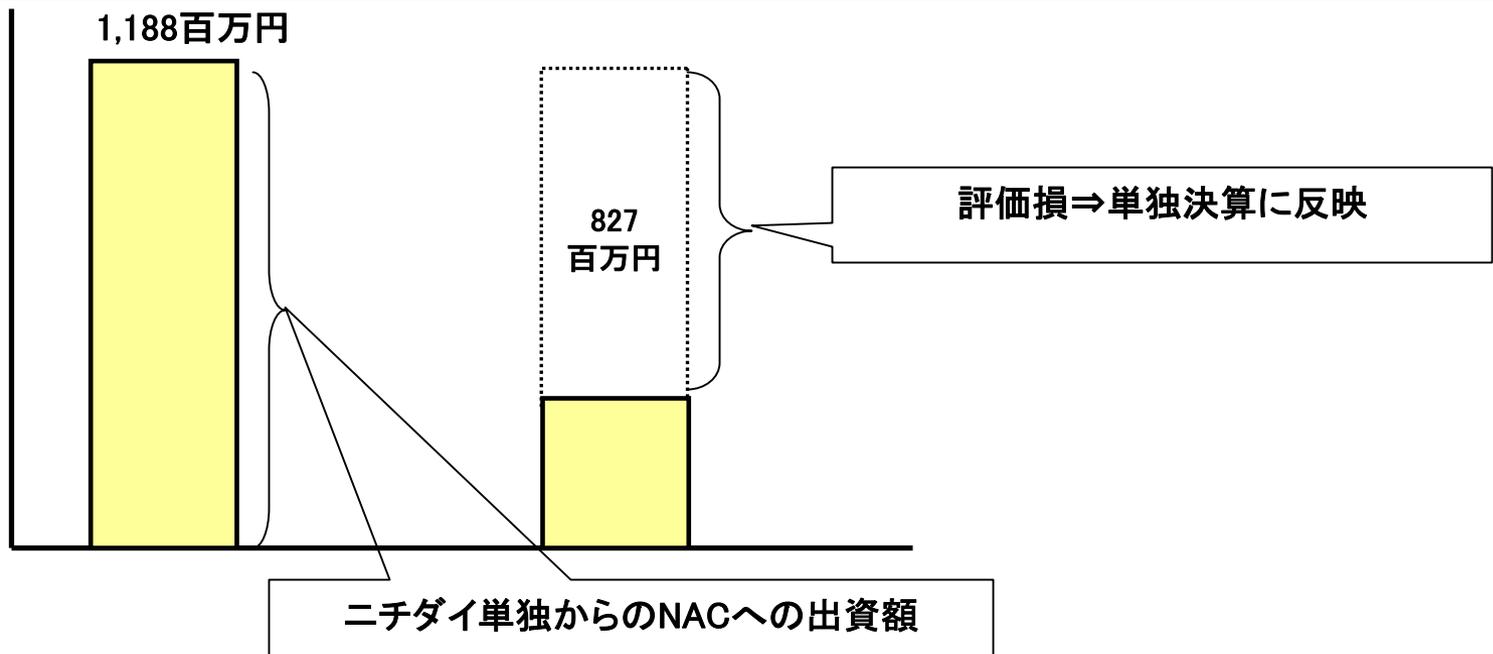
* 百万円未満切り捨て。NFCは「ニチダイフィルタ」、NACは「ニチダイアメリカ」。

Ⅱ. 07/3期実績-子会社株式評価損について-

単独

- ✓ニチダイ米国子会社NACにおける子会社株式評価損の計上。
- ✓2009年12月までに累損を一掃することが困難になったため、2006年までの累損分827百万円を計上。
- ✓日系部品メーカー向けの量産が開始されるものの、OEM生産品(注)の中止により、2007年度も赤字の予定。
- ✓単独決算に反映するため、単独で372百万円の当期損失。
- ✓配当金は、当初計画どおり通期20円を実施。

※注 OEM生産品:ニチダイで受注したりピート品をNACで生産したもの



Ⅱ. 07/3期実績-部門別売上高の状況-

連結

単位：百万円

	06/3 実績	07/3 業績予想 (10月発表)	07/3 実績	伸び率
国内	5,353	5,150	4,861	△ 9.2%
海外	759	890	840	10.6%
NAC	498	618	622	24.9%
連結消去	(375)	(308)	(295)	△ 21.5%
金型	6,235	6,350	6,029	△ 3.3%
(うち商品)	(190)	(102)	(143)	△ 24.4%
部品	3,645	4,600	4,917	34.9%
フィルタ	914	1,050	1,148	25.6%
連結	10,795	12,000	12,095	12.0%

▶ 新規開発案件の減少による。

▶ 中国、韓国、インド地域向け売上高増による。

▶ 日系、米系ユーザー双方とも増加。

▶ VGターボチャージャー部品：上半期と比較して、下半期は売上高が減少したものの、機種増加等があり計画以上の売上高を達成。

▶ 国内、海外とも売上高が大幅増。

* 百万円未満切り捨て。

市場環境

- 国内完成車メーカーの国内生産台数は、輸出増を背景にし前年比増。
- 海外生産台数も、引き続き増加傾向。
- 増産対応と品質強化対策等により新規開発案件の動きが鈍化。

➤国内

- ✓上半期には、中部地区ユーザーで在庫調整の影響。
- ✓部品開発新規案件が減少しており、それに伴う、国内金型事業の需要減少。

➤中国、韓国

- ✓現地系部品メーカーへの売上高増。ほぼ計画どおりに推移。

➤タイ

- ✓日系部品メーカーの海外立上げによる特需の一服と、寿命対策、現地調達の動き等により、売上高伸び悩み。

➤インド

- ✓下半期にダイセットの売上があるなど、新規開拓が進展。

➤北米(NAC)

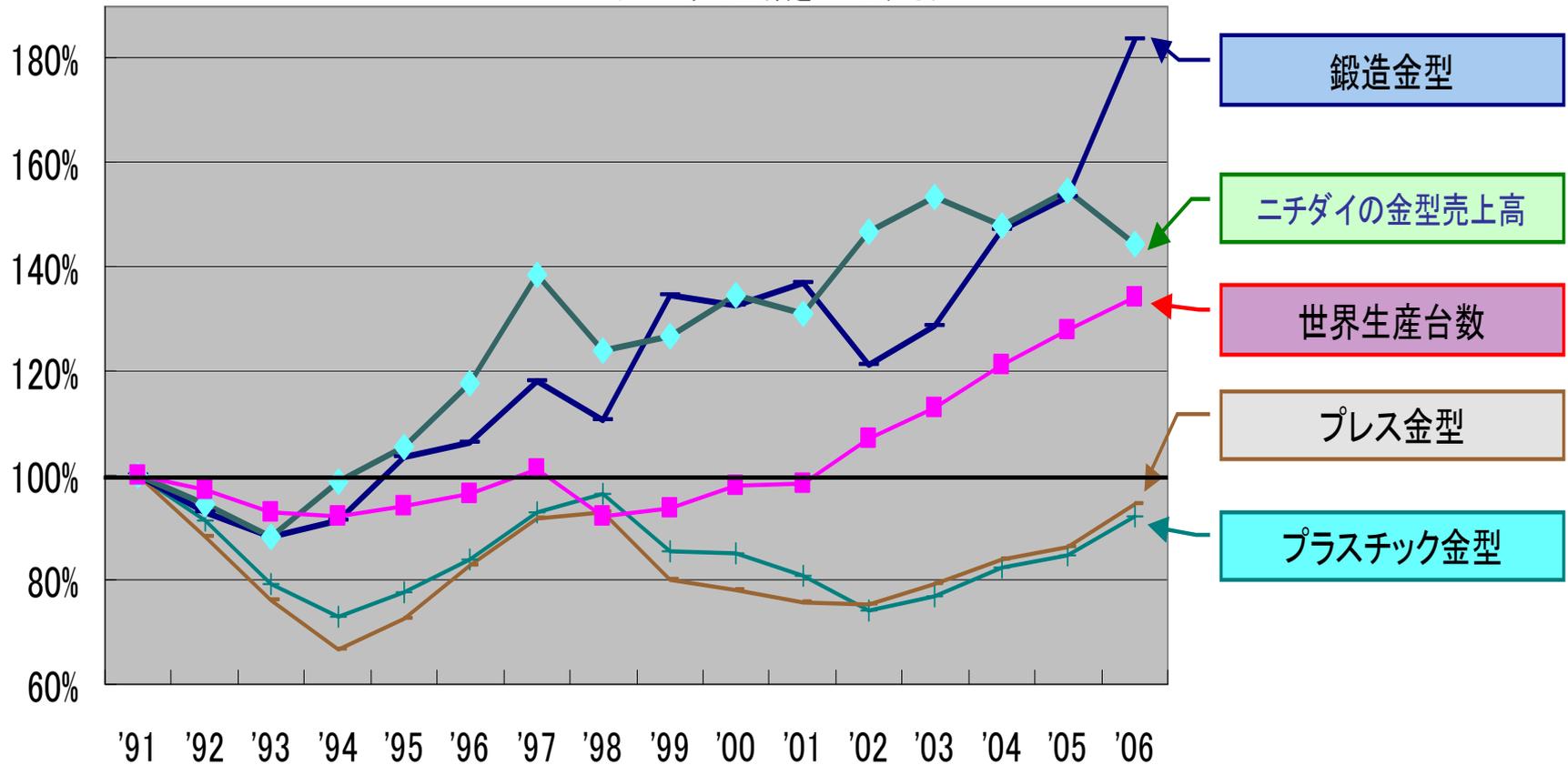
- ✓日系、米系メーカー向けとも売上高が増加傾向にあるものの、下半期よりOEM生産が減少し、利益面で苦戦。

Ⅱ. 07/3期実績-金型事業概況～各種指標の推移-

単独

各種指標の推移

(型種別生産金額、金型売上高、世界生産台数)
(1991年の金額を100とする)

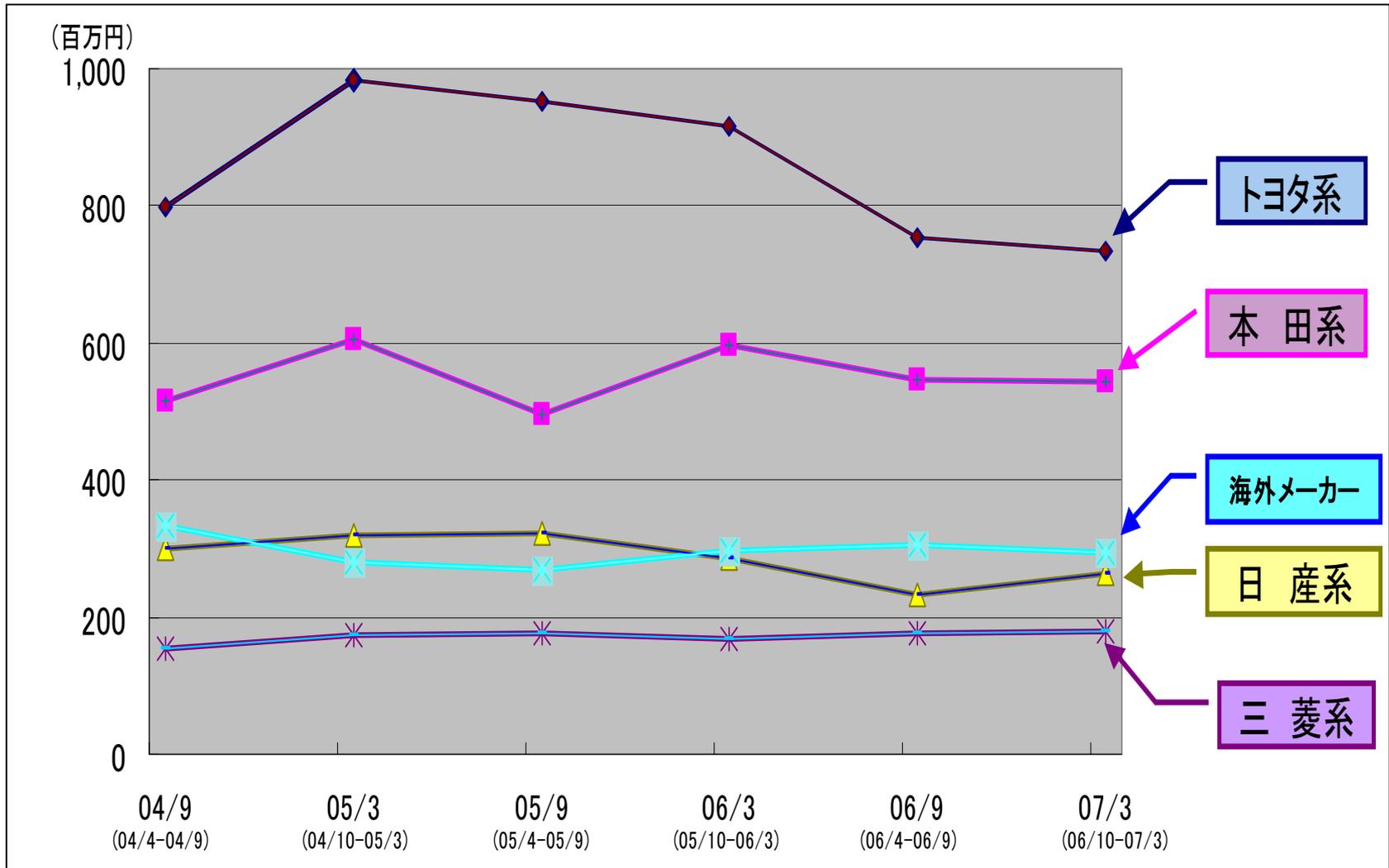


出所: 金型生産高(工業統計、'05-'06年は当社推定値)

世界生産台数(自動車工業会、国内自動車メーカーの国内と海外の生産台数の和)

Ⅱ . 07/3期実績-金型事業概況～ユーザー別売上高推移-

単独



市場環境

環境規制強化に伴う、ターボチャージャー需要の増加。それに伴い、ターボチャージャーメーカーの増産傾向が続く。

➤ アッセンブリ部門

✓ 上半期にあったVGターボチャージャー部品の納期対応分が減少し、下半期の売上高は減少したものの、新機種の立ち上がりなどもあり、順調に売上高が推移。

✓ 生産および品質の管理強化により、安定した生産で推移。利益面においても、大幅に伸張。

➤ 精鍛部門

✓ 下半期に受託生産があり、前年比増。

市場環境

- 各産業の設備投資意欲は、引き続き旺盛な状況。
- デジタル家電関連、特に液晶テレビ等用プラスチックフィルム生産設備の国内投資が続く。

- ✓国内外とも、売上高が大幅に伸張。
- ✓特に、フィルム生産向け高機能樹脂用フィルタの伸びが大きく貢献。
- ✓石油掘削用のフィルタの売上高も大きな伸びを記録。
- ✓食品用その他一般産業向けのフィルタも増加。
- ✓海外においても、大幅増を記録。特に、台湾、韓国地域をはじめとしたアジア地域での伸びが顕著。

Ⅱ . 07/3期実績－セグメント別P/L－

連結

単位：百万円

	06/3			07/3		
	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率
金 型	6,235	682	11.0%	6,029	510	8.5%
部 品	3,645	78	2.2%	4,917	445	9.1%
フィルタ	914	124	13.6%	1,148	183	16.0%
連結計	10,795	885	8.2%	12,095	1,139	9.4%

▶国内金型事業の売上高減少による減益。

▶VGターボチャージャー部品生産の大幅増と生産の安定稼動による。

▶売上高大幅増加による。

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ . 07/3期実績－売上原価の状況－

連結

単位：百万円

	06/3 実績	比率	07/3 実績	比率
売上高	10,795	100.0%	12,095	100.0%
材料費	2,986	27.7%	3,376	27.9%
製品仕入	708	6.6%	631	5.2%
外注加工費	1,342	12.4%	1,565	12.9%
補助材料費	349	3.2%	388	3.2%
人件費	2,028	18.8%	2,056	17.0%
減価償却費	483	4.5%	528	4.4%
在庫増減	360	3.3%	13	0.1%
その他	758	7.0%	752	6.2%
売上原価	8,297	76.9%	9,286	76.8%
売上総利益	2,498	23.1%	2,808	23.2%

材料費・外注加工費の増加
 ▶VGターボチャージャー部品の売上増に伴うもの。

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 07/3期実績－販売管理費の状況－

連結

単位：百万円

	06/3 実績	比率	07/3 実績	比率
売上高	10,795	100.0%	12,095	100.0%
荷造・運賃	135	1.3%	128	1.1%
旅費交通費	103	1.0%	112	0.9%
人件費	800	7.4%	806	6.7%
減価償却費	91	0.8%	88	0.7%
賃借料	61	0.6%	60	0.5%
その他	420	3.9%	473	3.9%
販売・管理費	1,612	14.9%	1,669	13.8%

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ . 07/3期実績－B/S:資産－

連結

単位:百万円

	06/3 実績	07/3 実績	増減
現金預金	835	1,179	344
受取手形	734	700	△ 33
売掛金	2,254	2,756	501
たな卸資産	1,218	1,285	66
その他	98	111	13
貸倒引当金	△ 39	△ 26	13
流動資産計	5,103	6,007	904
有形固定資産	5,745	5,714	△ 30
無形固定資産	57	50	△ 7
投資その他の資産	371	279	△ 91
固定資産計	6,174	6,044	△ 129
繰延資産計	－	8	8
資産合計	11,277	12,060	783

売掛金の増加

▶VGターボチャージャー部品の売上増に伴うもの。

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ . 07/3期実績－B/S:負債・資本の状況－

連結

単位:百万円

	06/3 実績	07/3 実績	増減
買掛金	654	655	0
短期借入金	2,124	1,352	△ 772
未払法人税等	166	288	122
賞与引当金	116	120	4
一年以内に 償還予定の社債	20	2,020	2,000
その他	370	468	98
流動負債計	3,452	4,905	1,452
社債	2,050	30	△ 2,020
長期借入金	820	690	△ 129
その他	49	20	△ 29
固定負債計	2,920	741	△ 2,178
負債計	6,372	5,646	△ 725
資本金	860	1,429	568
資本剰余金	624	1,191	567
利益剰余金	3,429	3,757	327
その他	△ 9	△ 15	△ 5
少数株主持分	－	50	50
純資産計	4,904	6,413	1,509
負債・純資産合計	11,277	12,060	783

社債について

▶ 2007年11月償還予定。

資本金・資本剰余金の増加

▶ 2006年7月に100万株の公募増資。

少数株主持分の増加

▶ 合弁会社THAI SINTERED MESH CO.,LTD. 設立による。

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位：百万円

	06/3	07/3	増減
営業活動によるCF	398	799	400
投資活動によるCF	△ 840	△ 399	441
財務活動によるCF	424	45	△ 379
現金及び現金同等物の増加額	△ 24	444	468
現金及び現金同等物の期首残高	410	385	△ 24
現金及び現金同等物の期末残高	385	829	444
FCF	△ 442	399	841

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ.08/3期業績予想

Ⅲ. 08/3期業績予想－P/L:売上・利益－

連結

単位:百万円

		06/3 実績	07/3 実績		08/3 業績予想	
		05/4-06/3	06/4-07/3	伸び率	07/4-08/3	伸び率
単 独	売上高	9,758	10,619	8.8%	10,900	2.6%
	経常利益	803	883	10.0%	1,000	13.2%
	当期純利益	417	△ 372	－	465	－
N F C	売上高	914	1,148	25.6%	1,200	4.5%
	経常利益	119	179	50.5%	180	0.3%
N A C	売上高	498	622	24.9%	600	△ 3.5%
	経常利益	△ 92	△ 64	－	△ 100	－
連 結	売上高	10,795	12,095	12.0%	12,500	3.3%
	売上総利益	2,498	2,808	12.4%	2,956	5.3%
	販売管理費	1,612	1,669	3.5%	1,776	6.4%
	営業利益	885	1,139	28.7%	1,180	3.6%
	営業外損益	△ 82	△ 92	－	△ 100	－
	経常利益	802	1,046	30.4%	1,080	3.2%
	当期純利益	369	543	47.2%	570	5.0%

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ. 08/3期業績予想 — 部門別売上高 —

連結

単位：百万円

	07/3 実績	08/3 業績予想	伸び率
国内	4,861	5,000	2.8%
海外	840	900	7.1%
NAC	622	600	△ 3.5%
連結消去	(295)	(200)	△ 32.2%
金型	6,029	6,300	4.5%
(うち商品)	(143)	(100)	△ 30.5%
部品	4,917	5,000	1.7%
フィルタ	1,148	1,200	4.5%
連結	12,095	12,500	3.3%

▶ アジア地域への売上増を見込む。

▶ OEM生産減による売上高減。

▶ 前期とほぼ同水準で推移。

▶ 高機能フィルム生産設備用のフィルタおよび新製品の売上増による。

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ. 08/3期業績予想-今期の課題～金型事業-

- 成長率は鈍化するものの、日系完成車メーカーの世界生産台数は引き続き増加傾向。それに伴う、グローバル体制の加速化。
- 日系メーカーにより環境関連技術を中心とした研究開発の推進。

課題

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ➤国内 <ul style="list-style-type: none"> ✓主カユーターの部品生産増への対応 ✓新規開発案件の掘り起し ➤海外 <ul style="list-style-type: none"> ✓中国、韓国:現地メーカーの要求に対応した営業強化 ✓タイ、インド:進出著しい日系企業への対応 ➤NAC(北米) <ul style="list-style-type: none"> ✓日系メーカーによる部品生産本格開始への対応 ➤研究開発 | <ul style="list-style-type: none"> ✓生産管理部門の体制を見直し、納期短縮、納期管理の強化 ✓マーケティングの強化による提案型営業の推進 ✓海外営業における人員強化 ✓国内営業との情報連携の強化 ✓営業技術部門による、海外新規案件の技術支援強化 ✓QCDのアップのための自律的な生産体制確立 ✓R&D強化を目的とした技術開発部門の新設 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- ディーゼルエンジン関連のターボ需要は、引き続き増加傾向。
- 海外需要が高い製品のためグローバルな視野での生産体制の確立を要する。

課題

アッセンブリ部門

➤コスト削減の推進

➤次年度以降、さらなる生産量増加に伴う、
新たな生産体制確立

精鍛部門

➤精密鍛造技術を活用した、技術開発への
貢献

✓VA・VEの推進

✓部品内製化の検討

✓将来的な海外展開検討のための
プロジェクトの推進

✓新設した技術開発部門との連携強化

Ⅲ. 08/3期業績予想-今期の課題～フィルタ事業-

- デジタル家電など各産業での投資は継続する状況。
- 石油掘削用等海外需要の増加。

課題

➤ 新市場・新製品の開拓

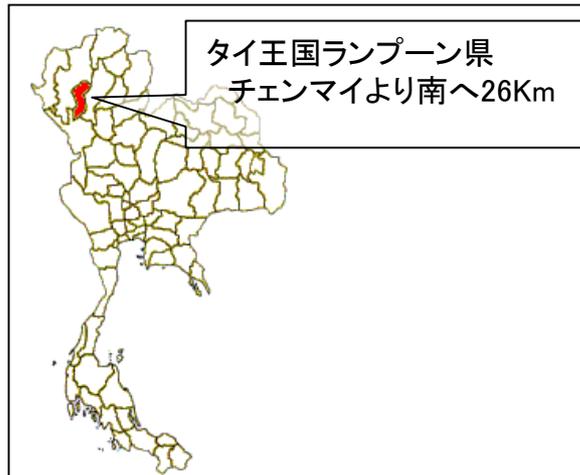
- ✓高機能フィルム生産向け製品の拡販
- ✓排気ガスフィルタへ向け製品の開発

➤ 海外需要増加への対応

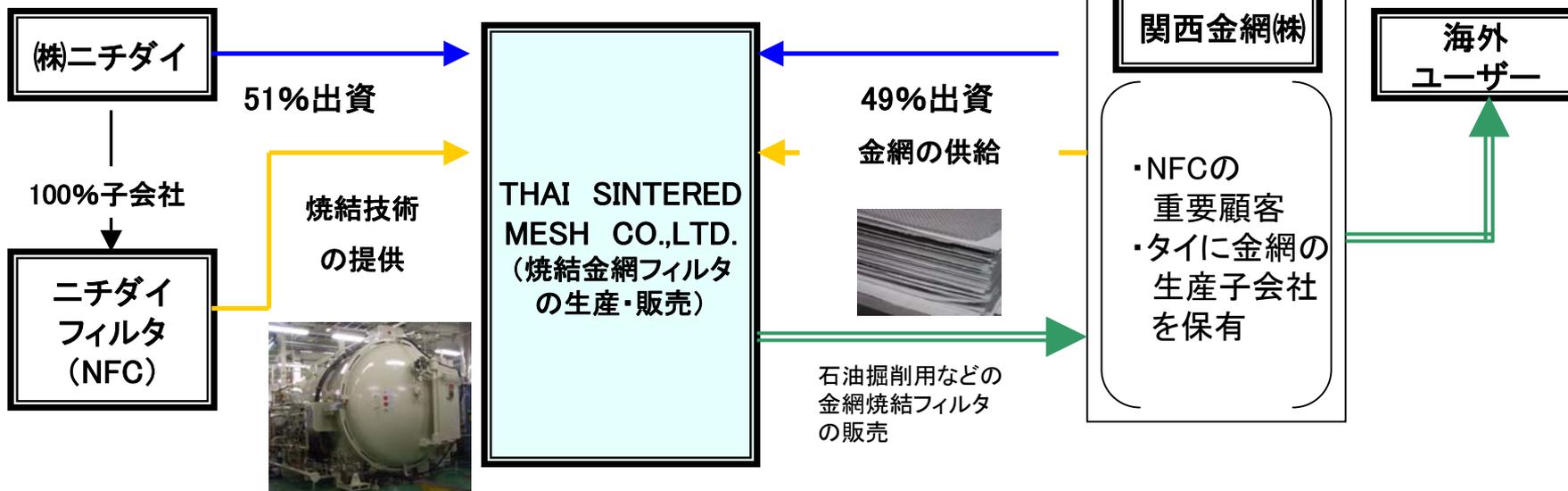
- ✓石油掘削用フィルタの需要増に対応し、タイに合弁会社設立

合併会社THAI SINTERED MESH CO.,LTD.概要

- ✓代表者:平岩 益夫(ニチダイ取締役 兼 ニチダイフィルタ社長)
 - ✓所在地:タイ王国ランブーン県
 - ✓資本金:9,000万バーツ(2007年12月までに全額払込み完了予定)
 - ✓株主構成:(株)ニチダイ 51% 関西金網(株)49%
 - ✓設立年月日:2007年2月27日
- ※ 2007年5月に工場建築を開始、2007年10月に操業を開始予定。
売上高は、年間約4億円の見込み。



✓THAI SINTERED MESH CO.,LTD.のスキーム



Ⅲ. 08/3期業績予想－売上原価－

連結

単位：百万円

	07/3 実績	比率	08/3 予想	比率
売上高	12,095	100.0%	12,500	100.0%
材料費	3,376	27.9%	3,438	27.5%
製品仕入	631	5.2%	662	5.3%
外注加工費	1,565	12.9%	1,538	12.3%
補助材料費	388	3.2%	399	3.2%
人件費	2,056	17.0%	2,210	17.7%
減価償却費	528	4.4%	538	4.3%
在庫増減	13	0.1%	95	0.8%
その他	752	6.2%	854	6.8%
売上原価	9,286	76.8%	9,544	76.4%
売上総利益	2,808	23.2%	2,956	23.6%

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ. 08/3期業績予想－販売管理費－

連結

単位：百万円

	07/3 実績	比率	08/3 予想	比率
売上高	12,095	100.0%	12,500	100.0%
荷造・運賃	128	1.1%	138	1.1%
旅費交通費	112	0.9%	112	0.9%
人件費	806	6.7%	865	6.9%
減価償却費	88	0.7%	83	0.7%
賃借料	60	0.5%	66	0.5%
その他	473	3.9%	512	4.1%
販売・管理費	1,669	13.8%	1,776	14.2%

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ. 08/3期業績予想－設備投資・減価償却費－

連結

単位：百万円

	期 項目	05/3 実績	06/3 実績	07/3 実績	08/3 予想
	単独	設備投資額	648	622	500
減価償却費		470	513	545	540
連結	設備投資額	688	680	581	700
	減価償却費	531	575	617	620

* 百万円未満切り捨て。

IV. 中期経営計画との比較

IV. 中期経営計画との比較

連結

単位：百万円

	中期計画		中期計画		中期計画	
	06/3	実績	07/3	実績	08/3	業績予想
売上高	10,400	10,795	11,500	12,095	12,700	12,500
金型	6,400	6,235	6,900	6,029	7,300	6,300
部品	3,100	3,645	3,600	4,917	4,300	5,000
フィルタ	900	914	1,000	1,148	1,100	1,200
経常利益	1,000	802	1,250	1,046	1,420	1,080
当期純利益	475	369	700	543	820	570
売上高経常利益率	9.6%	7.4%	10.9%	8.7%	11.2%	8.6%

V. 経営戦略における課題

V. 経営戦略における課題

外部環境

- ✓ 日系自動車メーカー及び自動車部品メーカーの海外展開の推進
- ✓ 顧客からの製造拠点の海外進出要請の高まり

- ✓ 環境関連技術を初めとした、自動車メーカーの研究開発の推進

経営戦略における課題

各事業における
グローバル展開
の推進

技術革新への対応

事業間シナジー
の追求

内部統制の
強化

内部環境

- ✓ 事業構成の変化に伴う、事業間連携の必要性

- ✓ J-SOX法施行を初めとする管理体制強化要求の高まり

■ 金型事業

- アジア地域における営業の強化
- NAC: 北米地域において生産が本格化する日系メーカーへの対応強化



■ フィルタ事業

- タイに設立した合弁会社
THAI SINTERED MESH CO.,LTD.の垂直立上

■ 部品事業

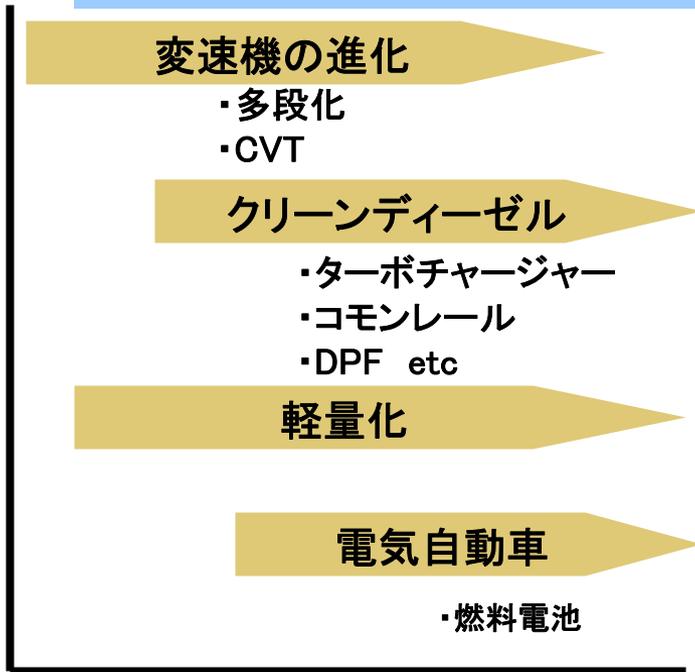
- VGターボチャージャー部品
将来の生産量拡大に伴う、海外生産拠点の検討

V. 経営戦略における課題～技術革新への対応

環境意識向上の背景



ロードマップの進展



ニチダイへの影響

金型・部品・フィルタ
すべての事業に
関連

現在 → 未来

■金型事業

- ディーゼルエンジン関連
部品用金型の開発
- 変速機関連部品の金型開発
- 電気自動車関連部品の金型
開発

■部品事業

- 欧州自動車メーカーの高品質
要求に対応したモノづくりの
強化

■フィルタ事業

- ディーゼルエンジン関連
排ガスフィルタの開発
- 石油掘削用フィルタ需要増加
への対応

V. 経営戦略における課題～事業間シナジーの追求



■金型事業

ネットシェイプ技術を
コアにした
シナジー効果の追求

社内所有プレスを活用
した研究開発の推進

■精密鍛造



部品内製化の検討。
増肉法※の活用

■アッセンブリ



精密鍛造より
アッセンブリへ部品供給

※増肉成形について

- ✓周辺に圧力をかけることにより、板素材の板厚を変化させる成形方法。
- ✓素材の初期の厚みから、要求厚みまで塑性加工することが可能。

成形前



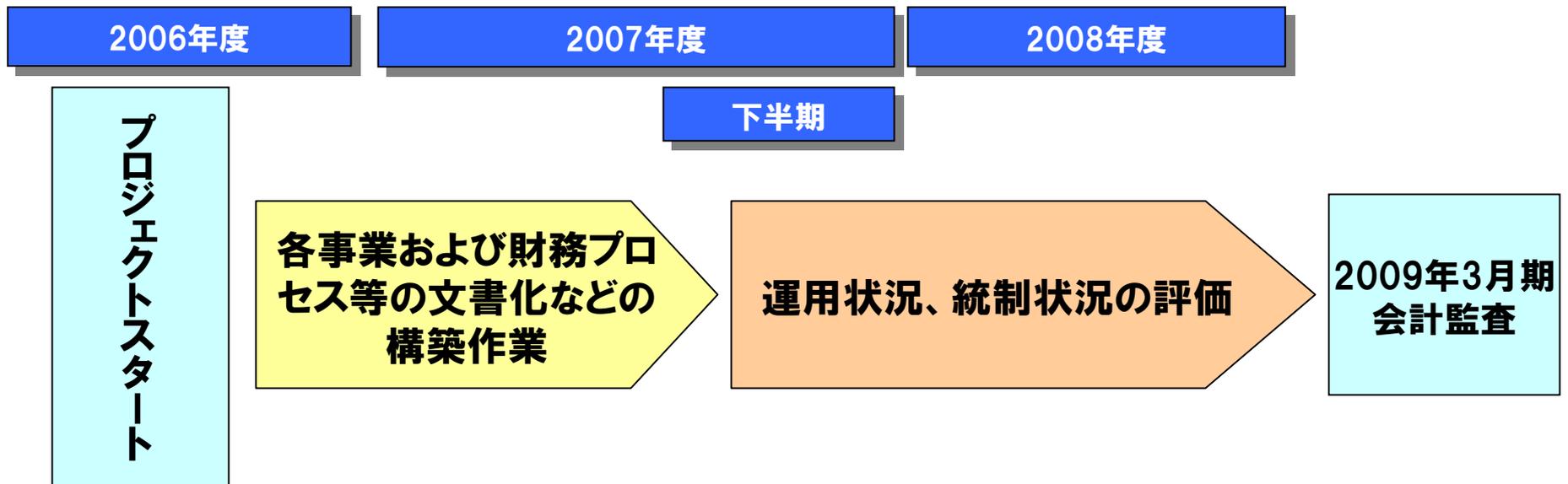
成形後



V. 経営戦略における課題～内部統制の強化

- 2006年11月内部統制構築のための全社横断的なプロジェクトをスタート。
- 2009年3月期会計監査までを目処。
- 法律への義務的な対応としてではなく、業務改善を目的とした能動的な活動を目指す。

✓内部統制構築のスケジュール

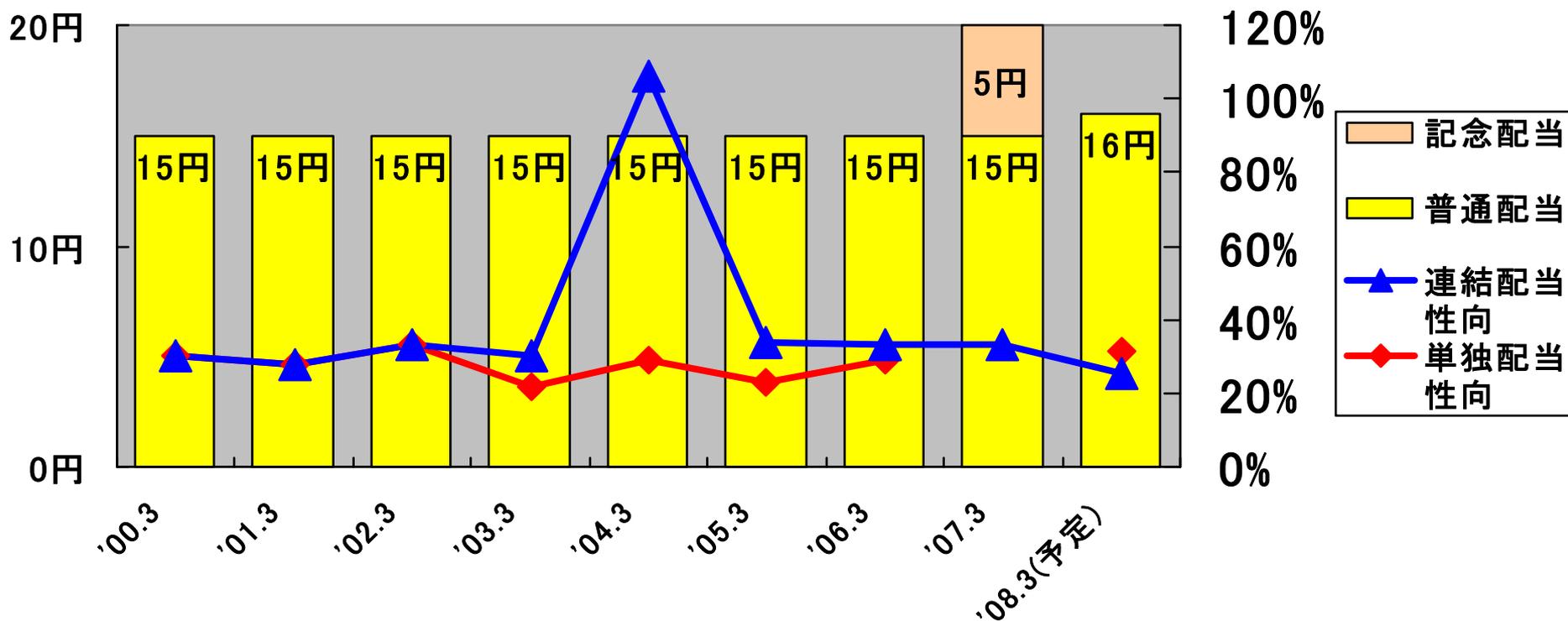


VI. 配当政策

■ 配当政策の基本方針

- ✓ 必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を維持

～ 株式公開後の配当 ～



本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

IR窓口：経営企画・広報グループ／紺野

Tel. 0774-62-3481

Fax. 0774-62-3469

E-mail: konno@nichidai.co.jp